

# 教団側が「政策協定」

11月13日

## 提示8人署名4人

朝日新聞は全国会議員を対象に、「世界平和統一家庭連合（日統一教総）」の友好団体との間で、直近の選舉の際に事実上の「政策提定」にあたる推進確認書をやりとりしたかをたずねた。現職副大臣や閣僚経験者の8人が文書を提示された回答者で、うち4人が署名を認めた。されど別に過去に政策に賛同する趣旨の文書に認めたと認められた議員も一人いた。いずれも国民党議員だった。

▼3面に説明は

調査は、衆議院会議員711人を対象に10月下旬、原則オンラインのアンケートで、656人（回答率32%）からの回答を得た。1未回答は54人で、うち50人が（9割超）自民が印めた。教総書を貰ひつけば、教友会主体の「世界平和連合」平和大使協議会から推進確認書が複数の議員に示され、署名した議員がいたことを認めた。これが別に過去に政策に賛同するに、過去に政策に賛同する議員の文書に認めたと認められた議員も一人いた。いずれも国民党議員だった。

調査は、衆議院会議員711人を対象に10月下旬、原則オンラインのアンケートで、656人（回答率32%）からの回答を得た。1未回答は54人で、うち50人が（9割超）自民が印めた。教総書を貰ひつけば、教友会主体の「世界平和連合」平和大使協議会から推進確認書が複数の議員に示され、署名した議員がいたことを認めた。これが別に過去に政策に賛同するに、過去に政策に賛同する議員の文書に認めたと認められた議員も一人いた。いずれも国民党議員だった。

調査は、衆議院会議員711人を対象に10月下旬、原則オンラインのアンケートで、656人（回答率32%）からの回答を得た。1未回答は54人で、うち50人が（9割超）自民が印めた。教総書を貰ひつけば、教友会主体の「世界平和連合」平和大使協議会から推進確認書が複数の議員に示され、署名した議員がいたことを認めた。これが別に過去に政策に賛同するに、過去に政策に賛同する議員の文書に認めたと認められた議員も一人いた。いずれも国民党議員だった。

## 国會議員に本紙調査 全て回答

元総務省政務官の斎藤洋明衆院議員、元厚生労働政務官の深沢謙一衆院議員も署名していた。4人とも政治活動への影響は否定した。

8月の内閣改組の際、岸田政権は政務三役には教総との関係を薄め、見直すことを受け入れた人物を任命したと説明していた。今回の調査で署名を認めた4人のうち3人が現職の副大臣だった。

未回答は54人で、自民60人▽日本維新の会3人▽参政党1人。自民では、教総文書を提示されたが、署名しなかったと回答したのは4人。宗教法人を所管する文部科学省の副大臣、井出廣生衆院議員（元防衛相）の福田朋美衆院議員、元環境副大臣の大庭敏孝衆院議員、元防衛省内閣府政務官の齊沢博行衆院議員だった。

一方、教団関係者は取材に、直近の国政選舉では全く地で数十人規模に署名したことを明らかにした。調査は「内容をよく確認せよ署名した」とは絶対だ」と回答した。

確認書を示されたか「わ

からない」と答えたのは、いかにも国民党の特徴。

ほかに江島勝彦衆院議員

は、選舉に關してではない

が、過去に政策に賛同する

議員の文書を示され署名し

たと認めた「政策や政治理

念の方向性がおかむね一致

していただけ」と説明した。

未回答は54人で、自民60

人▽日本維新の会3人▽参

政党1人。自民では、教総

文書を提示されたが、署

名しなかったと回答したの

は4人。宗教法人を所管す

る文部科学省の副大臣、井

出廣生衆院議員（元防衛相）

の福田朋美衆院議員、元環

境副大臣の大庭敏孝衆院議員、元防衛省内閣府政務官の齊沢博行衆院議員だった。

一方、教団関係者は取材に、直近の国政選舉では全く

地で数十人規模に署名

したことを明らかにした。

調査は、教団側との接点について、教団側は所屬議員に對

**未回答54議員 自民が9割超**

「世論平和統一協議会（正統教義）」側の座長の「政策説定」が、むねいこの風俗議員と連絡を取らねばならないなどにならぬか。報じ新聞の調査によれば民衆の議員が「提示されたた」も回数。その一方で、未回答される人おり、「超過は国民議員だつた」。岸田文雄首相は「各議員が説明すべし」とするが、説明責任を果たしてこなとの声も上がつてゐる。

■推薦確認書や類似文書のやりとりについて提示を受けた 8人  
井出麻生、稻田朋美、  
大岡敏孝、大串正樹、  
斎藤洋明、深沢陽一、  
宮澤博行、山田賛司  
署名した 4人  
大串正樹、斎藤洋明、  
深澤陽一、山田賛司  
提示を受けたか「わから  
ない」 8人  
石井拓、石原正敬、  
井原巧、上田英俊、  
江渡聰徳、神田徹次、  
船橋利実、星北斗  
（いわねおとし）執略

## 説明は

元國土生効務政務官の深沢  
一衆院議員は推進議論會  
の議名を認めた。取材に  
感が選舉中に持つて居つ  
た議員の中と推進議のよう  
なものがありたゞ「秘書か  
」聞いた」と説明。だが  
「議員がだ」りして答  
を説明せねばならぬことし  
た。友好団体個人の事務局  
係の確認は「失礼だ」と  
て「求めでない」として、  
元國務政務官の資諭透明  
衆院議員も署名を認めた。  
取材に「任期満期」が近づい  
ていた昨年の夏に降り「選  
挙を応援して下わゆ（教団  
の）会員から、秘書に直接  
手渡された」と聞かした。選  
挙で電話がつなぎの支援を  
してもらひたため「いわば  
前撮条件」として文書を示  
されたり説明。ただ「政策  
の関係者から『国政改  
革』を聞いてほしい」とおね  
がれで出向き、「推進議論  
けでないことは當然のうえ  
付しきよ。」ねにサン  
でやうどこの」と依頼を

協定

会合出席の細田氏・総裁たたえた山本<sup>朋</sup>氏…沈默

|  |     |
|--|-----|
| ■未回答だった議員  |     |
| 自民   | 50人 |
| 池田佳隆、大野敬太郎、<br>梶山弘志、上川陽子、<br>木原穂、工藤彰三、<br>小寺裕雄、小林茂樹、<br>小林史明、小森卓郎、<br>坂井学、笹川博義、<br>塩谷立、新藤義孝、<br>鈴木隼人、高木毅、<br>武田慶太、田中典生、<br>田畠裕明、中川郁子、<br>中根一幸、中山展宏、<br>額賀健志郎、鳩山二郎、<br>平口洋、鷹原旗、<br>穂坂泰、細田博之、<br>牧島かれん、牧原秀樹、<br>松本洋平、三谷弘、<br>御法川信吾、宗満一、<br>村井英樹、森英介、<br>八木哲也、柳本顕、<br>山口壯、山下貴司、<br>山田英樹、山本朋広、<br>越智俊之、小嶋隆史、<br>島村大、閑口昌一、<br>松下新平、三宅伸吾、<br>山下雄平、若林洋平<br>維新 | 3人  |
| 池下卓、小野泰輔、<br>清水貴之  |     |
| 参政   | 1人  |
| 神谷宗幣   |     |
| (敬称略、連絡がつか<br>ず、回答を依頼できな<br>かった1人をのぞく)   |     |

議員も未回答だった。教団の創始者が提唱した「田舎トンネル」構想に賛成し、17年に都内で開かれた「田舎トンネル推進全国会議」の結成大会上出席。党点検で関連団体の会員への出席も回復は得られなかった。同じく未回答だった元社説局大臣の山本邦正衆院議員が、17年に教団主催の会合に出席し、幹鶴子・総裁として「アカーメーン」とたたき

理の御用川信英衆院議員からも回答がなかった。

れ  
じごたいしりが明らかになつ  
てゐる。  
また国民党議員らで構成  
し、教団友好団体幹部も顧  
問に就く「日本・世界平和  
議連合懇談会」(解散)  
の名簿に幹事長として記載  
されていた国民党幹部議員代  
理の御法川信兼衆院議員が  
も回答がなかった。

署名しただけに。外務副  
田の山田實司衆院議員も、  
國政報告会の直後に署名  
たと説明している。

衆院議員は調査し、提示は  
なかつたと答えた。

示されたが、署名しなかつたと回答した。宗教法人を所管する文部科学省の副大臣、井出庸生衆院議員は「閣僚団体とは距離を置くべきだ」とした上で理由を記した。元防衛相の稻田朋美衆院議員は「自分の政策と異なるため」、「元環境副大臣の大畠敬孝衆院議員